

令和 8 年度学校評価自己評価 【当初】

神杉小学校

学校教育目標 「確かな学力と豊かな人間性をもち 自ら伸びる子どもの育成」
自ら学ぶ 認め合う 元気

達成度	達成値	評価	A ≥ 100	80 > C ≥ 60
	×100 目標値		100 > B ≥ 80	60 > D

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	評価方法	評価達成度	評価状況	中間評価 達成状況	改善策
知 確かな学力	主体的に学びに向い、自分の考えを高め、伝えようとする子どもの育成を図る。	基礎・基本の学力の確実な定着、向上を図る。	・反復練習（漢字・計算）の徹底やタブレットドリル等を効果的に活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。 ・ICTを効果的に活用した授業づくりを深化させる。	・単元末テスト（国語・算数）80点以上の児童の割合を70%以上にする。	・単元末テスト				
		育成すべき資質・能力の向上を図る。	・新コアカリキュラムの実践を進め、検証を図る。 ・振り返りの活動を充実させ、自己調整力の育成を図る。	・年間2回の児童意識調査を行い、「主体性・表現力・協働性」の肯定的評価を85%以上にする。	・児童意識調査				
			・読書活動を充実させ、読書に親しむ機会を多く設け、読書量を増やす。	・「本を読むことは楽しい」児童の割合を80%以上にする。	・児童アンケート				
徳 豊かな心	友だちの良さを認め合い、かかわり合っ て前向きに行動できる子どもの育成を進める。	自ら考え、判断・行動し、チャレンジする気持ちを育てる。	・自己選択・自己決定の場を設定し、児童に様々な場面でチャレンジする経験をさせる。 ・協働することの大切さを実感するため、児童会や縦割り班活動の充実を図る。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ① 学習・特別活動等において、自己選択・自己決定を進んで行った。80%以上 ② 友だちと（他学年の人）協働して縦割り班活動に取り組んだ80%以上	・児童アンケート				
		挨拶や言葉づかい等、場や相手に応じた行動のあり方を考え、人権意識や自己有用感を育てる。	・スマイルカードの取組を充実させ、1人1人の良いところを認める活動 ・自分から進んであいさつができるようにする。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ①スマイルカードに友だちのよいところを見つけて書いた。 ②登校時や来客の方に対し、自分から進んであいさつができる。80%以上	・児童アンケート ・保護者アンケート				
体 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	基礎体力の向上を図る。	・運動朝会の内容や方法を工夫し、楽しんで基礎体力を向上できるようにする。	・体づくりに関するアンケートの肯定的評価80%以上にする。	・児童アンケート				
		健康に関心をもち、健康的な生活をつくろうとする気持ちを育てる。	・「お弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・自分の生活をコントロールする力を育てる。	・生活リズムチェックで、目標を達成できる児童の割合を70%以上にする。（高学年）	・生活リズムチェック				
開 か れ た 学 校	信頼と協働に支えられた地域とともに成長する学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い、保護者の学校に対する信頼度や満足度の向上をめざす。	・学校HPや各種通信などで積極的に情報発信を行うとともに、保護者との連携を主体的に進める。 ・保護者間の関係づくりを進め、学校への相談体制を充実する。（迅速で誠実な組織的対応） ・業務改善をさらに進める。	・保護者の肯定的評価[3・4]を90%以上とする。 ・職員の超過勤務月45時間以内を100%にする。	・保護者アンケート ・入退校時間				
		地域とともに成長する学校づくりをさらに進める。	・コミュニティ・スクールとして、小中・地域がさらに連携した取組を進める。	・「子どもの学び応援団」の取組を年間10回以上。 ・地域（外部）人材を活用した学習活動を年間10回以上。	・取組活動等の回数				

重点取組